

国連東ティモール統合ミッション

United Nations Integrated Mission in Timor-Leste (UNMIT)

設立年月 2006年8月

設立決議 安保理決議1704(2006)

展開場所 東ティモール

本部所在地 デイリ(Dili)

事務総長特別代表 Atul Khare (印)

警察部門長官 Rodolfo Asel Tor (フィリピン)

活動期限 2008年2月26日(安保理決議1745(2007))

任務 治安維持及び回復(国家警察(PNTL)再建までの間、暫定的に法執行も行う)、政治的対話、国民和解、民主的ガバナンスの構築、2007年の大統領・総選挙の実施、PNTL訓練、人権確保等における支援。

経緯・背景

1. 経緯

- (1) 東ティモールの独立をめぐる続いていた紛争は、99年4月、武装勢力等の間で和平合意が成立。更に同年5月、旧宗主国ポルトガル、実行統治国インドネシア、及び国連が直接住民投票実施に同意したことを受け、同年6月、安保理は直接投票を実施する国連東ティモール・ミッション(UNAMET)を設立した(決議1246)。同年8月30日、直接投票が実施され、78%以上の住民が独立を選択した。
- (2) 99年10月25日、国連安保理は、東ティモールの統治に関し全般的責任を有する国連東ティモール暫定行政機構(UNTAET)を設立した(決議1272)。00年2月23日、多国籍軍の展開により東ティモールの治安が回復したのを受け、多国籍軍からUNTAETの軍事部門に治安維持の任務が引き継がれた。
- (3) 01年8月30日、憲法制定議会議員選挙が実施され、その後02年には憲法制定会議による憲法制定、大統領選挙(4月14日)を経て、国連による暫定統治は終了し、同年5月20日に東ティモールは独立した。そして、独立により任務が終了するUNTAETに代わり、東ティモールの安定と行政能力の確保、及び法の執行への支援と治安維持への貢献を目的に、軍事・警察部門に加え、UNTAETに比べ規模の縮小された民生部門を含む国連東ティモール支援団(UNMISSET)が独立と同時に設立された(決議1410)。
- (4) UNMISSET展開後、東ティモール内の治安状況は改善し、国家制度の構築も進展を見たが、司法分野を中心として国家機能が十分には機能していないこと及び国境警備隊の能力が十分でないとして、国連は、PKOから政治ミッションに転化させ、国家制度の構築支援、警察の能力向上支援、及び民主的統治及び人権の遵守に関する訓練支援等を目的とした、国連東ティモール支援事務所(UNOTIL)を05年5月設立した(決議1599)。
- (5) UNOTILは06年5月で任務を終了する予定であったが、同年4月に、離脱兵士による抗議活動に便乗した暴力行為に対し国軍が投入され、5月下旬には離脱憲兵隊員が国軍本部等を襲撃するなど情勢が悪化した結果、東ティモール政府の要請を受けた豪、ポルトガル、マレーシア、ニュージーランドが軍事要員や警察要員を派遣した。右情勢の変化に対応した新しい国連ミッションのあり方について議論するため、UNOTILは3度マンデートを延長した。

2. UNMITの設立

- (1) 06年8月25日、東ティモールの情勢悪化を受け、安保理は、当面6ヶ月間、国連東ティモール統合ミッション(UNMIT)の設立を決定した(決議1704)。我が国は安保理において本件決議の起案、調整において主導的役割を果たした。
- (2) 07年2月23日、安保理は、UNMITの展開期限を08年2月26日まで延長し、警察要員を最大140名増員すること等を決定した(決議1745)。
- (3) 07年4月には大統領選挙、5月には大統領選挙決選投票、6月には議会選挙が行われ、EU、日、豪等が監視活動を実施した。

派遣規模(2007年8月31日現在)

文民警察要員 1608名 軍事監視要員 32名

※我が国は現在、文民警察要員2名を派遣中である。

要員派遣国(同上)

日本、オーストラリア、バングラデシュ、ブラジル、カナダ、中国、クロアチア、エジプト、エルサルバドル、フィジー、ガンビア、インド、ジャマイカ、キルギス、マレーシア、ナミビア、ネパール、ニュージーランド、ナイジェリア、パキスタン、パラオ、フィリピン、ポルトガル、韓国、ルーマニア、ロシア、セネガル、シエラレオネ、シンガポール、スペイン、スリランカ、スウェーデン、タイ、トルコ、ウガンダ、ウクライナ、ウルグアイ、バヌアツ、イエメン、ザンビア、ジンバブエ

犠牲者数(2007年9月30日現在)

2名(敵対行為1名、その他1名)